

21-11-24

「サステナビリティボンド」を発行します ～環境と社会双方の課題解決に資する事業へ調達資金を充当～

名古屋鉄道は、環境と社会双方の課題解決に資する事業の資金調達のため、当社初のサステナビリティボンド(以下、「本社債」)を2021年12月に発行します。

詳細は、下記の通りです。

記

1. 背景

当社では、「地域価値の向上に努め、永く社会に貢献する」という使命のもと、2018年3月には名鉄グループ長期ビジョン「VISION2030～未来への挑戦～」を策定し、地域と共に生きる企業として、モビリティの提供やまちづくりを通じた新たな魅力や価値を創造し続けるとともに、変化する社会のニーズを積極的に取込み、新たなライフスタイル・豊かな生活の実現をサポートすることで、持続的な成長を目指しています。また、2021年9月には「名鉄グループ サステナビリティ基本方針」を策定し、「地域を活性化する事業＋社会を支える事業」の推進により、「持続可能な社会の実現」を目指すことを宣言しています。

このような取り組みを推進していくため、この度、サステナビリティボンドによる資金調達を決定しました。

2. 本社債の概要

名 称	名古屋鉄道株式会社第 65 回無担保社債 (社債間限定同順位特約付)(サステナビリティボンド)
発行総額	100 億円(予定)
発行年限	7 年(予定)
発行時期	2021 年 12 月
資金使途	サステナビリティファイナンス・フレームワークで定めた 事業の新規ファイナンス資金またはリファイナンス資金 ①新型車両 9500 系・9100 系の導入 ②駅や保有施設の照明の LED 化 ③犬山エリアの観光活性化 ④エリア版 MaaS 開発
ストラクチャリング・エージェント※	大和証券株式会社

※ストラクチャリング・エージェントとは、サステナビリティファイナンス・フレームワークの策定やセカンドオピニオン等の外部評価の取得に関する助言等を通して、サステナビリティボンドの発行支援を行う者。

3. サステナビリティファイナンス・フレームワーク策定および外部評価の取得

当社は本社債の発行にあたり、国際資本市場協会 (ICMA) の定める「サステナビリティボンド・ガイドライン 2021」をはじめとする各原則に則したサステナビリティファイナンス・フレームワークを策定しました。また本フレームワークについて、株式会社格付投資情報センター (以下、「R&I」) より、上述の各原則との適合性に対する外部評価 (セカンドオピニオン) を取得しています。

- サステナビリティファイナンス・フレームワーク
<https://www.meitetsu.co.jp/ir/211124sustainabilitybond-framework.pdf>
- R&I による外部評価 (セカンドオピニオン)
<https://www.meitetsu.co.jp/ir/211124sustainabilitybond-secondopinion.pdf>

4. 調達資金の使途

▶ グリーン適格プロジェクト

プロジェクト分類	適格プロジェクト	概要
クリーン輸送に関する事業	<p>① 新型車両 9500 系・9100 系の導入</p>  <p>9500 系車両</p>	<p>当該車両は省エネ機器として、VVVF インバーター制御装置に用いるパワー半導体にエネルギー損失の低い炭化ケイ素 (SiC) を採用するなど、最新のテクノロジーを積極的に取り入れています。また、主電動機に全閉外扇誘導電動機を採用し、エネルギー効率のさらなる向上を図っています。</p>
エネルギー効率に関する事業	<p>② 駅や保有施設の照明の LED 化</p>  <p>名鉄正木第五ビル</p>	<p>環境活動の基本的な考え方を示す環境方針「名鉄エコ・プラン」の行動指針のひとつに環境負荷の軽減を掲げ、具体的な取り組みとして保有施設の省エネ化を進めています。この一環として、駅や保有施設の照明の LED 化を実施しています。</p>

▶ ソーシャル適格プロジェクト

プロジェクト分類	適格プロジェクト	概要
<p>社会経済的向上とエンパワーメントに関する事業</p>	<p>③犬山エリアの観光活性化</p>  <p>ホテルミュースタイル 犬山エクスペリエンス</p>  <p>ホテルインディゴ犬山有楽苑 (イメージ)</p>	<p>犬山エリアの観光活性化に向けて、2007年から犬山市と連携した観光キャンペーンを実施しています。</p> <p>また2021年7月にホテルミュースタイル犬山エクスペリエンスを開業、2022年3月にホテルインディゴ犬山有楽苑の開業を予定しており、犬山エリアが日帰り型観光地から滞在型観光地となることを目指し、魅力ある観光地づくりおよび受け入れ態勢の整備に資する投資を行っています。</p>
	<p>④エリア版 MaaS 開発</p>  <p>【参考】開発中の画面(イメージ)</p>	<p>2022年3月にエリア版 MaaS アプリの初期リリースを予定しています。出発地から目的地までのシームレスでストレスフリーな移動を提供し、お客さまの利用しやすさ・使い勝手の向上を図るだけでなく、地域のさまざまなパートナーとの連携強化を図り、地域の商業施設や物販・飲食店舗への送客促進、観光周遊促進、高齢者をはじめとした地域の皆さまのおでかけ促進などの推進を目指します。</p>

以上